

内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞

総務省・京都府
推薦

ヤマハ株式会社新規事業開発部 SoundUDグループ

(東京都港区)

【概要】

- 交通機関、商業施設、公共施設で流れるアナウンスや観光地のガイダンス、非常放送、災害放送等、街中では様々な音声情報が流れているが、聴覚障害者や音が聞き取りづらい高齢者、日本語アナウンス等がわからない外国人は、内容を理解できず不自由を強いられることが多い。
- 開発した「おもてなしガイド」は、世界初の「音のユニバーサルデザイン化」をコンセプトとして、ヤマハの音響通信技術と国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の高精度音声認識技術を活用して実現したシステムであり、インターネット回線を必要とせず、既存の放送設備も活用でき、災害に強いことも特徴である。
- この「おもてなしガイド」は、日本語アナウンスの内容が、ユーザー各自のわかる言語文字として、瞬時に各々のスマホ等に表示することができるもので、特に、訪日外国人には通訳者を、聴覚障害者には手話通訳を介することなくアナウンス等の内容を伝えることができ、バリアフリー化に極めて有用なものである。



【特に顕著な功績・功労】

- 「大坂の陣400年天下一祭冬の陣」、「ミラノ万博日本館」等、国内外でのイベントでの公式採用のほか、国内の主要空港・交通事業者・商業施設・観光地等、既に全国34社でも「おもてなしガイド」を用いた展開が進んでいる。また、平成28年5月には、京都府・京都市で初の地域連携プロジェクトを立ち上げ、音のユニバーサルデザイン、バリアフリーのインフラ化に向けて、点から面での展開がなされている。

➤ 「おもてなしガイド」は、どこの施設にもある一般的なスピーカーや映像ディスプレイから送信でき、ユーザーはスマートフォンやタブレットに表示できるもので、特殊な送受信機材を必要とせず、また、インターネット環境のない場所や災害時でも使用できることから、特に訪日外国人や聴覚障害者等に対するバリアフリー化が顕著で、多大な功績がある。

confidential

「おもてなしガイド」を導入すると・・・

スピーカーから流れている音声を数秒程度、スマホに聞かせると、ユーザー各自のわかる言語になって、内容が表示されます。既存の放送設備も利用できるので、導入しやすいのが特長です。

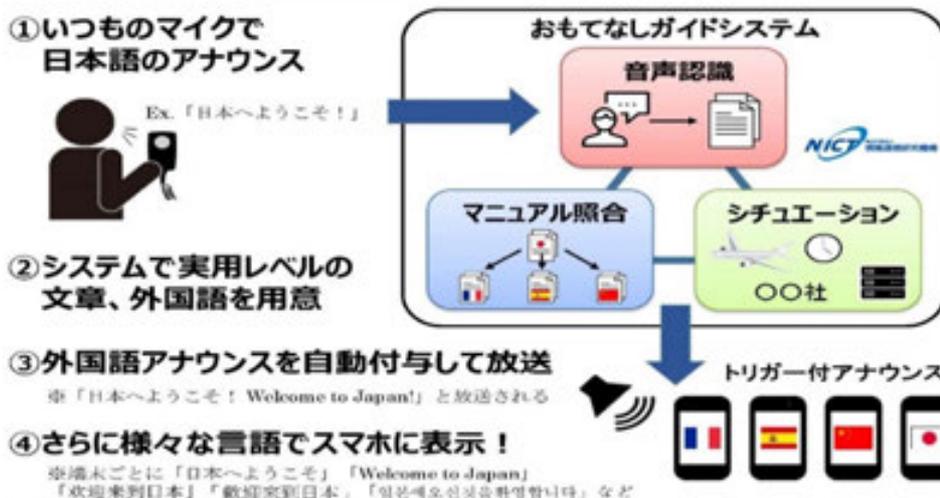


(c) 2015-2016 Business Development Division, Yamaha Corporation

5

肉声アナウンス時の基本システムイメージ

confidential



(c) 2015-2016 Business Development Division, Yamaha Corporation

10

